

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、田原洋子議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。〔7番 田原洋子君登壇〕

○7番（田原洋子君）

おはようございます。田原洋子です。

発言通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

3月4日に発生した来海沢地すべり災害から3か月が経過しています。

また、糸魚川市は「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」が広範囲に広がっていることから、以下の項目を伺います。

- (1) 来海沢の県道西側の避難解除の見込みは、いつ頃になりますか。
- (2) 避難解除になる基準はありますか。
- (3) 流出した土砂の処分場は決まっていますか。
- (4) 来海沢より奥にある御前山、市野々へ通じる冬季の除雪路は確保できますか。
- (5) 工事関係者と分かるように、車両に会社名の表示や身分証明書の提示はされていますか。
- (6) 来海沢以外の土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域には、監視カメラやワイヤーセンサーなどは設置されていますか。
- (7) 各地域での避難訓練、要配慮者の対応は、どのように行われていますか。

2、駅北復興まちづくりについて。

平成28年12月22日に発生した糸魚川駅北大火の復興について、以下の項目について伺います。

- (1) 大町2丁目地内の宮田ビルは土地と建物を寄附していただき、旧東北電力株式会社糸魚川営業所は不動産鑑定評価にて土地と建物を取得していますが、耐震強度などの調査はされましたか。また、建物を活用できなかった場合、解体費用は幾らかかりますか。
- (2) 大町2丁目地内の旧東北電力株式会社糸魚川営業所は、土地と建物それぞれ幾らですか。
- (3) 取得した大町2丁目地内の2棟の物件について、活用方法は決まっていますか。
- (4) 本町通りの工事が続いています、全ての工事が終わるのはいつですか。

3、糸魚川の観光について。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、観光客の減少が続いていますが、ワクチン接種が進んでいることから、アフターコロナを見据えた観光の対策を、今から始めるべきと考えます。

糸魚川の観光について、以下の項目を伺います。

- (1) 観光大使ヒスイレディの募集が始まりましたが、応募資格を女性のみ限定されている理由は何ですか。
- (2) 糸魚川駅自由通路に臨時観光案内所が設置されていますが、ほぼ無人状態なのはなぜですか。

- (3) ジオパーク観光インフォメーションセンターとジオラマ鉄道模型ステーションの営業時間が一致していないのはなぜですか。
- (4) 月不見の池では、藤まつりの期間中だけでも観光案内人が必要ではないですか。
- (5) 商工観光課が糸魚川市観光協会のある場所に移動する考えはありませんか。
- (6) 分かりにくい案内板がないか、ネット情報が最新のものになっているかなどのチェックはしていますか。

4、魅力ある学校づくりについて。

糸魚川市では小中学校の統廃合が進んでいます。特に中学校は校区が広く、卒業した小学校の規模や地域性の違いがあり、新しい環境に戸惑う生徒がいます。

また、キターレでは週末になると勉強をする中学生、高校生がいることから、以下の項目について伺います。

- (1) 中学校入学前の交流はどのように行われていますか。
- (2) 自分の地域の魅力を他地域に伝えあう取組はしていますか。
- (3) キターレと図書館以外で生徒が勉強できる場所がありますか。
- (4) 糸魚川市内の高校に進学後、中退する生徒はいますか。
- (5) 中学校の部活動は、糸魚川市内の高校でも続けられていますか。
- (6) 連続しての欠席だけではなく、遅刻や早退、休みがちな児童と生徒に対して、どのような対応をしていますか。
- (7) 教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーは、何人いますか。

5、官製談合事件について。

糸魚川市が発注した公共工事をめぐる官製談合事件について、令和3年6月8日に糸魚川市職員が起訴されました。

以下の項目を伺います。

- (1) 糸魚川市には不正が疑われた場合、どのように対応するか、マニュアルはありますか。
- (2) 不正防止のため、禁止事項の確認は、定期的に行われていましたか。
- (3) 設置する調査委員会の人選は、どのように行いますか。
- (4) 新駅の公衆トイレは、何か特別な工法や機能はありますか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田原洋子議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、現地の調査をしているところであり、復旧工事の方針も決まっていないことから、避難解除の目途は立っておりません。

2点目につきましては、避難の原因となった危険がなくなり、ライフラインの復旧など、通常の生活ができることが、避難解除の条件と捉えております。

3点目につきましては、当面必要となる土砂の仮置場は確保しております。

4点目につきましては、道路管理者である県からは、冬季前には路線確保を図りたいとお聞きいたしております。

5点目につきましては、災害復旧工事に当たる工事関係者の情報を地元へ提供するとともに、工事関係者と分かるように指導してまいります。

6点目につきましては、県の警戒区域指定により設置した例はありませんが、災害が発生した場合には、現場での状況等に応じて監視カメラやバイオセンサーなどを設置し、安全確保を図っております。

7点目につきましては、出前講座などを通じて避難行動の確認や避難所設営訓練を実施いたしております。また、避難行動要支援者避難支援プランに基づいて、地元避難体制の確認を行っております。

2番目の1点目につきましては、耐震調査は実施しておりません。また、解体費用につきましては、平成30年1月に物件調査した結果では、2棟で約7,500万円でありました。

2点目につきましては、売買契約額は5万4,000円で、東北電力株式会社の不動産鑑定評価により算定したものであります。

3点目につきましては、まだ決まっておりませんが、市民をはじめ様々な方々と意見交換をしながら、活用方法を検討してまいります。

4点目につきましては、4年6月末を予定といたしております。

3番目の1点目につきましては、これまでの歴史の中でヒスイレディとして観光協会で募集してきたものであります。

2点目につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大以降、新幹線利用者等が激減していることから、基本的に人の配置を休止しているところであります。

3点目につきましては、ジオパル全体で人員配置をする必要があることから、営業時間を調整して対応いたしているものであります。

4点目につきましては、早川観光協会をはじめ、関係者の皆様と協議をしております。

5点目につきましては、現時点では商工観光課の移動は考えておりませんが、今後、観光協会の体制と合わせ、検討してまいります。

6点目につきましては、それぞれの管理者において随時確認を行っているところであります。

4番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願いたします。

5点目の1点目につきましては、不祥事発生時の対応マニュアルがございます。

2点目につきましては、不祥事防止のためのチェックリストの確認が内部監査のチェック項目として計上されており、定期的に確認の機会を設けております。

3点目につきましては、構成員は市外の方で大学教授、弁護士、技術専門家、金融関係者の5人程度にお願いしているところであります、人選を進めております。

4点目につきましては、特別な工法の採用はしておりませんが、多目的ブースなど、公衆トイレに必要な機能を有しております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

田原洋子議員の4番目のご質問にお答えいたします。

1点目につきましては、各中学校区で6年生同士の交流会や部活動見学など、6年生と中学生の交流会が行われております。

2点目につきましては、ジオパーク学習交流会などで自校の地域学習の成果を発表し合う活動を行っております。また、オンラインで交流を行っている事例もあります。

3点目につきましては、能生、青海の生涯学習センターなどに自主的な学習も可能な場があります。

4点目につきましては、中途退学者は僅かで、転学するケースが多いと聞いております。

5点目につきましては、設置部活動の数は一般的に高校のほうが多くなっており、中学校の部活動を続けることはほぼ可能と考えております。

6点目につきましては、学習指導、学校生活への適応など、児童生徒の状況に沿った対応を、保護者と連携しながら行っております。

7点目につきましては、教育相談員は7人、スクールカウンセラーは2人、スクールソーシャルワーカーは1人配置しております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

2回目の質問をさせていただきます。

まず、1、今回のように大規模な土砂災害が起きた場合、流出した土砂の行き場がないと、復興工事が進まないのではないですか。大量の土砂を運び込んで、その場所が崩れることがあってはならないですし、特に山間部は地権者が複雑になっている場合が多いです。災害が起きてからではなく、事前に地質調査や土地の所有者の確認をしておく必要はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

おはようございます。

残土につきましては、新潟県と糸魚川市でそれぞれ処分場を探して、予定しているところはもう確保してあります。

今、議員おっしゃられるように、雪と一緒に出てきた土砂なものですから、まず、仮置場で土砂を乾かして、今、乾かしながら置いている、そんな状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

今回の来海沢だけではなく、糸魚川は柵口や玉ノ木など、雪崩や土砂災害が多い地域です。今回の来海沢の行き先は決まったとしても、例えば能生地域とか青海地域とか、広い範囲でもし今後起こった場合を想定して、ある程度準備は必要ではないですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

確かに処分場という話は、以前からございまして、なかなか確保といいますか、難しいところなんですけど、これからの課題として捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ぜひ検討をお願いします。

次に、工事関係者と分かるような表示についてです。

来海沢地区だけではなく、御前山地区と、市野々地区でも見慣れない車や工事関係者、農業関係者、林業関係者以外と思われる人の出入りがあります。水保地区からの市道は道幅が狭く、危険な箇所があるため、関係者以外の通行が制限されていますが、自己判断でゲートを通ってしまうケースがあるようです。

関係者には車のフロントガラスに置く通行許可証を配布したり、ゲートのところで道幅が狭いなど、携帯電話の電波が入らない地域があるなど、危険箇所があることを知らせることはどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

先般の来海沢の説明会のときにも、地元の区長さんからそういう要望がございまして、車の車両に来海沢の関係者と分かるように前に置いていってもらっているような状況です。

それから、工事関係者の名簿を区長さんのほうに渡しまして、数で言いますと、県と糸魚川市で大体10社、それからデンカさんのほうもありまして、デンカさんが7社ほど入っております、それぞれデンカさんの業者にもそういう表示をしてもらうようにしております。

あと、市道御前山線なんですけど、幅員が狭くて、ちょっと擦れ違いができないような場所は、看板の周知だとか、ところどころ少し、僅かなんですけど、市野々の区長さんからも要望があって、少

し待避帯をつけながら、今、供用させていただいているような状況です。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

事故が起きないように周知をお願いします。

次に、今回の土砂災害は、冬の真夜中に発生しました。避難訓練が行われるのは休日の昼間が多いのですが、計画しているどおり避難を手助けする人がいつもいるとは限りません。実際、釜沢地区の水害があったときは、男性が地域にたまたま出かけておらず、大変な思いをしたと聞いております。

中越大震災の震源地、長岡市川口では、子供たちが遊んでいて、周りに大人がいない場合など、様々な時間帯や曜日を設定して、避難方法を学んでおります。糸魚川市の実践的な避難訓練はどのようにされていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えいたします。

当市でも議員おっしゃられたように、やはり災害はいつ襲ってくるか分からない。子供だけのとき、あるいは日中に町の若い人がみんな仕事に行っていて、お年寄りしかいないと、そういったいろいろなことを考えまして、やはり避難訓練というのは、例えば日曜日の昼間だけじゃなくて、夜に行うとか、あるいは雪の降っているときに行うとか、そういった工夫をしながらやっていかなければならないというふうには思っております。

ただ、現実的には、なかなか、じゃあ、冬の雪が積もっているときに、さあ、やるぞといっても、なかなかすぐできないものですから、そういったところをちょっと地元のほうとお話をしながら、工夫をしながら、可能なところから、そういう一歩進んだ避難訓練を取り入れられるように取り組んでいきたいというふうには思っております。

よろしくをお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

私も含め、市民一人一人が家族や近所の方と避難方法、協力できることを話し合うのは必要だと思います。私もやってみたいと思います。

来海沢地すべり災害の避難解除と御前山、市野々へ通じる冬季の除雪の開放、安全面を最優先し、一日も早く日常生活が取り戻せるようにお願いします。

また、合わせまして、来海沢の県道から通行止めになっている上にある田畑についても、来年に

は耕作ができないか、地域の方はとても心配しております。来年には何とか復興できるようにはお願いしたいと思います。

では、次の質問に移ります。

駅北復興まちづくりについて。

令和3年3月の定例会の一般質問で、田原 実市議が、この2棟について質問しています。このときの答弁は、解体費用につきましては、現在のところ解体等は検討の中に入れておりませんが、続けて取得費用につきましては、土地・建物等の解体等のお金でありましたり、土地の価格だったりの差引き等がありますが、5万4,000円で東北電力のほうのビルは購入させていただきたいとなっています。つまり東北電力は土地の価格から建物の解体費用を差し引いて5万4,000円だったということですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

議員ご指摘のとおりでございまして、東北電力が実施をいたしました不動産鑑定評価額、その中で更地にしたときの価格から、建物の取壊し費用等を差し引いた金額5万4,000円で糸魚川市のほうが取得をしております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

では、宮田ビルのほうは、土地の価格から解体費用は計算されているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

宮田ビルにつきましては、所有者の方から糸魚川市に対する寄附というお申出をいただいたものですから、そこの辺の算定はしてございません。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

駅北のエリアには、ほかにも空き店舗や空き家があり、その所有者からは、「解体するにはかなり費用がかかる、私も寄附したら、市が維持管理、もしくは解体してくれるのか」と聞かれまし

た。どうお答えになりますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤喜代志君登壇〕

○産業部長（齊藤喜代志君）

おはようございます。

今回の物件につきましては、復興のまちづくり計画の中で、にぎわいの拠点施設という候補のエリアにあった物件でございます。そういった中で、いろいろと調査もしながら、結果的にはにぎわいの拠点という整備については、計画に至っておりません。そういった経過を踏まえて、今回、寄附の申出もありましたし、東北電力からは先ほどの不動産鑑定による取引、いかがでしょうかという声かけをいただいた中で、まちづくり計画にも位置づけた今後の駅北の活性化につながるには、資する場所であろうといったことを総合的に判断して、取得させていただいたものであります。

ですので、ほかにも近くにそういった空き家や空き店舗、そういったものがあるかと思いますが、そういったお申出全てに応えきれないというものではありませんで、その都度にまた庁内での検討等も必要であろうし、そういった形で今回は今までの経過の中で取得させていただいたというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

大町2丁目地内の2棟については、広報いといがわ1月号に、「今後、調査、検討していきます」と書かれています。これから既に半年がたっています。具体的に何を調査したのですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

東北電力と宮田ビルの活用の方法についての調査というご質問だとお受けいたしました。

庁内でいろいろ活用については検討してまいりましたが、現段階ではまだこういった形で活用していくというのは、計画のほうはまだできてない状況にあります。

今後、民間での活用につきましても、サウンディングなどの調査方法もございますので、調査研究のほうを進めてまいる予定としております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

加えて説明をさせていただきます。

今、東北電力の西側の部分、井上商会様の倉庫があった場所について、子育て機能を中心とした拠点の整備ということで、広く意見を承っておるところでございます。その中で、そういう意見を

お伺いする中で、今の東北電力さんのところとか、宮田ビルさんのところの部分に活用のアイデア等もあれば、その辺りは今後の検討の中には取り込みさせていただければというふうに考えて、意見交換の今作業を進めておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

解体せずに建物の状態で活用方法を検討しているということですが、第2次糸魚川総合計画では、あの辺一帯は「防災とにぎわいの拠点」となっています。糸魚川市駅北まちづくり戦略概要版では、「子育て支援とにぎわいの拠点施設」としている場所となっています。これとこれは別の隣接している場所だということですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤喜代志君登壇〕

○産業部長（齊藤喜代志君）

総合計画に載せてある部分につきましては、復興まちづくり計画ができたところ辺りの当初の段階での方針といった形で掲載をさせていただいたというふうに記憶しております。その後、3年ほどかかったと思いますが、復興まちづくりの市民会議、それから復興のまちづくり会議といった形で、いろんな皆さんからのご意見を伺いながら、最終的には駅北の復興のまちづくりについてのあのエリアについては、まちづくり戦略という形で最終的な方向性を示させていただきました。その中においては、当初、総合計画にも載っております駅北まちづくりにも載っている「子育て支援とにぎわいの拠点」といったこと、その考え自体はずれるわけではないんですけど、今回の戦略の中においては、分散型のまちづくりという形で機能をいろんな北エリアに分散しながら、にぎわい、活性化、そういったものにつなげていきたいと思いますというので、整理をさせていただいたものであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

近隣住民からは、もし2つのビルを解体した場合、せっかく新築を建てたのに、ひびが入るのではないかと、被災してない近隣の住民からは、粉塵や振動などでしばらく住めないのじゃないかと心配する声があります。

また、説明会があつて意見を言いたい、あの人がかう言つたと後から陰口をたたかれるのが怖くて黙っているというお話もあります。

市民の意見を聞いて進めているというのはパフォーマンスで、実はもう計画が決まっているのではないかと疑心暗鬼になっています。住民が望んでいるスーパーもなければ、地域に子供がいないのに子育て支援をつくることに違和感がある。公園の木や芝生は、糸魚川市の公園であれば、誰が

管理しているのか。近隣の人が水やりをしているが、年齢的にいつまでできるか分からないという話は届いていませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤喜代志君登壇〕

○産業部長（齊藤喜代志君）

いろいろ貴重なご意見としてお伺いしました。そういったいろんな考え方があろうかと、みんな100人が100人、同じ考えを持って今回の復興のまちづくり、それからその先、今後の活動、そういったものになかなかつながらないなということが実感でございます。

ただし、やはりそういったところの声にも配慮しながら、仕事については、今後のまちづくりについては、進めていかなければならないと思いますし、貴重なご意見であろうというふうにも思います。

できるだけ今までの中でも、そういった声が拾いやすいような形で進めてきたつもりではございますが、まだまだこれから、今までやったこと、この先でまたどういった形でいろんな皆さんの意見を聞きながらやるかというのが一つ課題だというふうに思います。

大変貴重な意見、ありがとうございました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

本町通りの工事は、市民から見ると、掘っては埋め、掘っては埋めが繰り返されています。一言で電線地中化と言っても、電話線や電気など、様々な工事があるので、このような工程日程になっているのだと思いますが、短期間で集中工事をする方法はなかったのでしょうか。

本町通りの雁木下の工事は終わりましたが、ゴムマットが引いてあったため、シルバーカートが押しにくい、つまずいて転びそうになった、だから、行かなくなったという高齢者の意見があります。にぎわい創出、復興のために行っている工事が、逆に人の流れを変えている、これでは本末転倒だと思います。商店街からも一日でも早い工事の終了を願っている声を市長に届けたいと思います。

また、これは提案ですが、新幹線で糸魚川に来られた方が、糸魚川駅前では魚介類、野菜、山菜と、糸魚川の旬を買う施設がないと意見があります。こちらの施設を造るのは、提案としていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤喜代志君登壇〕

○産業部長（齊藤喜代志君）

本町通りの工事について、少しご説明させていただきます。

確かに今現在やっているのは無電柱化の工事でありまして、これは町の景観もありますが、電柱がずっと並んで、電線がもうはい回っているという、そういった景観を直していこうという部分

と、あと、いざ災害のときに、やはり電柱が倒れたり、地震のときには倒れたり、あと、消火活動の電線が支障になったりといったこと、そういったことも合わせて、防災の面からも今回、電線地中化ということで、仕事を進めております。

工事的内容的にやはりどうしても掘って埋め、掘って埋めという工程が重なって、続いて今に至っております。こういったところでは、大変地元の皆さんにご迷惑をおかけしてますし、先ほどの仮設のマットですね、どうしてもやはり掘った後、仮に埋めておいても危ないのでということで、このマットがあったりといったことで、非常にご迷惑をおかけしておることは承知しております。そういった面につきましては、工事の場面ごとに地元の皆さんへの説明はさせていただいて、進めてきてはおります。

確かに長いといったことで、ご批判もいただいておりますが、あともうしばらくそういったところをご協力いただきながら、最終的には電柱のない、すっきりした町並み、安全・安心な町並みというところを今進めておるところでございます。

それから、新幹線の駅を生かしてといったところではありますが、この辺はやはり全部、市のほうで行政が進めるものばかりとは限らないと思います。いろんな形でまちづくりをしていく中では、現在、自分たちでまちづくりを進めていくという方たちともお話しをさせていただいております。そういった中で、そういったものが、今、議員提案されておるものが実現していくということも、またもしあれば、そういった形は今度、後方から行政としては支援していくといったことになろうかと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ぜひ火災前のコミュニケーションが取れていて、皆さんがやはり大好きな糸魚川と思えるようなまちづくりをお願いします。

次の質問に移ります。

3、観光について。

ヒスイレディの応募は、毎年何人ぐらいありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ヒスイレディは6人で構成されておまして、毎年基本的に3人ずつ交代していくという形でありまして、具体的な数字はちょっと持ち合わせておりませんが、近年は応募も少ない状況であるというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ヒスイレディの募集チラシには、「ふるさとを糸魚川のあなたの笑顔でPRしませんか」とあります。男女共同参画を推進しているのであれば、女性の分野に男性が参加する柔軟性があってもいいのではないのでしょうか。

糸魚川には釣り、登山、バイクのオフロード走行会など、どちらかと言えば男性のほうが割合が多い観光資源がたくさんあります。糸魚川ではこんなことができる、アクティブ体験レポートを男性の観光大使がして、SNSで発信する。ほかの市町村と差別化を図るのはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ヒスイレディにつきましては、観光協会の事業として、これまでの歴史の中で、全国的にもそうなんですけども、観光キャンペーンについては女性が中心となって行って来たという傾向がございます。

ただ、今、議員がおっしゃるように、これからの時代は性別にかかわらず、様々な人材の魅力によって行われるべき、やるというふうに考えておりますので、また、これらにつきましても、関係する皆さんと協議をさせていただいて、よりよい方向で市もPRができればいいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ぜひ男性の観光大使が実現できるように、私も期待しております。

続いて、糸魚川駅自由通路の観光案内所についてお聞きします。

糸魚川駅自由通路に観光案内所のボックスを設置した経緯と、設置に幾らかかったか、教えてください。

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

自由通路の観光案内所の設置の目的につきましては、北陸新幹線ですとか、JR大糸線、えちごトキめき鉄道などを利用して、糸魚川を訪れた観光客に対して、観光情報ですとか、案内サービスを提供するためでございます。

また、費用につきましては、110万円でありまして、うち50万円を県の補助金を活用しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

先ほど市長の答弁では、新型コロナウイルスの感染拡大で利用者が少ないため、現在閉めている

ということです。ただ、糸魚川市観光協会の公式フェイスブックで、2019年12月21日に、「本日より糸魚川駅2階自由通路にて観光案内所を開設しました。休日10時頃から15時頃の営業を予定しています。ぜひご利用、お立ち寄りください。」と紹介しています。このフェイスブックで公式で発表したにもかかわらず、12時になったら2時間無人という状態とかがありました。なぜこのようなことが起きているのですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

議員おっしゃるように、令和元年の12月21日にオープンいたしまして、その後、周辺のイベントですとか、土日を中心に開けてきておたわけなんですけども、その後、冬期間ということになったり、またその後にはコロナ禍ということで、なかなか思うように職員を配置して案内ができていないという状況であるというふうにお聞きしております。

現在もまだ自由通路の人通りが少ない状況ではありますが、今後、来訪客の状況等を見る中で、今後も土日祝ですとか、ゴールデンウィーク、連休、また周辺でイベントをやる際を中心にしまして、できる限り職員を配置して、案内サービスができるように、観光協会と詰めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ちなみに糸魚川市観光協会の事務局長の前のお仕事は何ですか。前任者も合わせてお答えください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

反問をお願いします。

○議長（松尾徹郎君）

反問を許します。

○商工観光課長（大嶋利幸君）

すみません、今、質問の後段のところが聞き取りづらかったものですから、もう一度質問をお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

糸魚川市観光協会の事務局長の前のお仕事、前職は何ですか。前任者も合わせてお知らせください。

い。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

今の観光協会が一番奥に座っていらっしゃる方、男性、いますよね。そこに、観光協会に来るまでの前の勤務先はどこですかとお聞きしております。

○議長（松尾徹郎君）

反問を終了いたします。

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今の観光協会の事務局長の以前の職は、市の職員であります。

その前任の方も市の職員であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

天下りと言われても仕方がないのではないかと思います。

また、観光案内というのは、土日・祝日、ゴールデンウイーク、年末年始などが一番忙しいのです。ただ、なぜか観光協会にいる職員は、土日・祝日、ゴールデンウイーク、年末年始はしっかり休む、公務員感覚を観光に持ち込まれては困るのですが、どのようにお考えですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、観光協会の職員につきましては、事務所に入っている人は、基本的には土日が休みの勤務形態でありまして、イベントですとか、ツアーがある際には、休日出勤をして対応しているところがありますけども、あと観光案内に従事されている方とシフトの調整によりまして、観光案内に入ることもございます。

ただ、おっしゃるように、観光に従事されている皆さんにつきましては、基本的には観光客が動くときに勤務をするということが必要であると思いますので、その辺につきましても、観光協会の事務局と協議をして、対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

アフターコロナで観光客が増えたときには、ぜひ自由通路には観光案内人が必ずいる、そういったようなシフト体制ができることを望みます。

次に、ジオパーク観光インフォメーションセンターは、通常19時まで、7月から9月は19時30分まで、ジオラマ鉄道模型ステーションは、平日18時までのところを土日・祝日は18時30分まで、7月から9月は19時まで延長されています。通常より延長するほど夏場や土日・祝日は利用者が増えるのでしょうか。18時以降の利用者数を教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、その時間帯の利用者数につきましては、数字を持ち合わせておりません。

ただ、夏場ですとか日が長くて、観光客が多い時期には、なるべくできる限り長い時間を空けて、観光客に配慮と言いますか、観光客に楽しんでいただきたいという観点で対応している状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

夏場の延長時間は、正直言うと見ていると、近隣の方が夏に涼みに来ている方とか、そのような方が多いような感じです。利用者数と人件費、光熱費と見合うような体制づくりをお願いします。

次に、大地の芸術祭で、観光客が多い十日町市では、十日町駅に十日町市総合観光案内所があり、一般社団法人十日町市観光協会の隣に十日町産業観光部観光交流課があります。糸魚川市も市役所にいたのでは、観光客が求めているものが把握できないのではないのでしょうか。

先ほどは移転の予定はないとおっしゃっていましたが、ぜひ観光客の意見を聞く体制は取らないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、観光協会の内部におきましても、組織体制の議論がされるというふうにお聞きしておりますので、今後、それらの協議と合わせて、どのような観光行政がいいのかを含めまして、協議をしてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ぜひ糸魚川駅などに出向いて、観光客の生の声を聞いてください。大型のスーツケースがコインロッカーに入らない。トイレの位置が分からない。大糸線の表示があっても、南小谷行きになっているので、白馬に行けるか分からない。デジタル表示に表示されるバスの時刻表は、行き先を探しているうちに切り替わってしまう。すぐに取り組めるところから改善していただけないでしょうか。

か。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

観光協会を含めまして、今、ご指摘のあった点を含めて再確認をしまして、すぐにできるところは対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ぜひ夏の観光シーズン前には改善を1つでも2つでもしていただけると助かります。では、聞きます。この「海谷溪谷7km」、この案内はどこにあるか分かりますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、写真を見せていただいた範囲内では、ちょっと分かりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ヒントというか、こちらは根知、上野のバス停近くにある案内です。このルートは、今現在、海谷溪谷に向かって通行できますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、通行止めになっているというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

来海沢の災害以前から通行止めになっていると思いますが、この看板のある場所から、私、実際に走行してみました。カーブの多い山道を約5キロ、10分ほど上って行くと、林道駒ヶ岳線の分岐点まで行きます。そこで工事中、通行止めです。長野県小谷村方向から来た場合、ナビの案内は、この上野から梨ノ木ルートを通る道を案内します。糸魚川市観光協会のホームページでは、「来海沢の災害により、海谷三峽パークまで行くことができません」となっていますが、それに気づかな

い観光客の方が、せめてこの看板のところで引き返せないと、あまりにも不親切だとは思いませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるように、事前にウェブサイトだけを見てお出でになる方だけではなくて、現地での案内頼りと言いますか、そういう方もいらっしゃると思います。言われるように、通行止め等があった際には、そういう案内標識にも配慮はする必要があるというふうに思っておりますが、広域な市内において、見落としもあるかと思しますので、また、その都度、対応していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

このような不親切な看板、分かりにくい看板は、ほかにもあります。例えば、月不見の池に曲がる道路、建物と建物の間で道路が見落としやすく、通り過ぎてしまう観光客が多いことは認識していますか。

下早川地区公民館の方にお聞きしたら、以前は曲がり角にある民家の敷地内に案内看板を設置していたが、諸事情で新しい看板が設置できなくなったということです。この看板の手前にもう1枚、「この先何メートル右折」という看板をつける予定があるそうですが、曲がる場所はここにこだわらず、少し手前にある金融機関がある道のほうが、視界が開けていて分かりやすいと思います。案内ルートの変更などは検討していただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるように、月不見の池への曲がる場所の看板につきましては、今の写真の向かい側と言いますか、曲がり角のところについていたところではありますが、いろんな事情によりまして、今の写真の場所に移動したところでもあります。

ただ、この設置の際にも、地元の観光協会ですとか、自治会の方と協議をした上で、なるべく車を県道を走らせて、地元にも経済効果も含めてということで、今のところを選択したわけでありませぬ。

その手前に事前看板もつける予定はございますけども、今後とも地元の皆さんと話をする中で、一番よい方法で、一番よい場所につけていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

「沿道の藤をよく見たいが、どこに車を止めていいかわからない。」「お土産はどこで買えるのか。」「月不見の池からの帰り道、商店街に戻る案内看板がなく、通り過ぎてしまった。」これも観光客によく言われます。月不見の池は、ジオサイトの一つであり、藤のシーズンには糸魚川の定期観光バスが運行され、新聞やテレビなどで取り上げられる人気観光スポットです。もし観光案内に人手が足りないのであれば、糸魚川が大好きでPRしたいというボランティアを活用するのはいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

コロナ禍の前には、例えば、フォッサマグナミュージアム等におきまして、ゴールデンウィーク時などには、ジオパーク観光ガイドが研修を兼ねて、ボランティアで案内していたというケースもございます。

月不見の池につきましても、言われるように、何といたしますか、なかなかお店の場所とか分かりにくいとか、そういうこともございますので、今後の対応について、地元の観光協会等と、また話をさせていただいて、可能であれば、そういうボランティアガイド等の配置につきましても、検討したいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

糸魚川にはたくさんの観光名所があります。ぜひアフターコロナにたくさんの観光客が来たときに、また糸魚川に来たいと思わせるような取組をしていきたいと思えます。

次の質問に移ります。魅力ある学校づくりについてお伺いします。

小学校同士の交流ですが、6年生同士、小学校と中学校の部活の交流があるとお伺いしました。ただ、例えば西海小学校の児童は、水保観音の鯛釣り舞を見たことがあっても、根知のおてこ舞を見たことがない生徒が多いです。総合学習の授業で、自分の通う校区内のことを学ぶ機会があっても、ほかの地域を知る機会が少ないのではないのでしょうか。

小学校に入学する前から、自分たちの地域にはこんなにすばらしいものがあると教え合ったり、違うことを認めるといことが相互理解につながると思えます。積極的な学校同士の交流について検討をしていただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

お答えいたします。

地域の特色を生かした教育とか学校づくりについては、やっぱり子供たちに自信を持たせたり、

また、地域や学校への愛着を高める上で、とても重要だというふうに考えております。

現在行っていますジオパーク学習交流会、それぞれの学校において、体験活動を通じて、肌で学んだ地域の魅力を、子供たちが精いっぱいいろいろな方法で発表し、交流をしております。

また、最近ですけれども、ネット、ズームなどを使いながら、小規模校同士でそれぞれの学校で学んでいることについて、紹介し合っているという情報も入っております。

こういった取組をさらに充実させることによって、子供たちがやっぱり自分たちが学んだことに自信を持って、そのことが、また中学校へ行ってもスムーズな人間関係づくりだとか、教育活動への適応といったことができるのではないかというふうに考えておりますので、教育委員会としても、積極的にそういったところを進めてまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

学校同士の交流会をするときは、ぜひ公共交通機関のバスに乗る、電車に乗る体験も取り入れていただければと思います。

次に、ギターレでは、たくさんの生徒が利用していますが、週末、イベントがあると居場所がなくなります。図書館のように静かに集中できる場所ではなく、ある程度会話ができるところが好まれているようです。

また、令和2年、糸魚川高校の総合的な探究の時間の成果発表では、学び合いで教育改革が審査員最優秀賞と生徒特別賞に選ばれています。このテーマの中で、生徒は糸魚川市へお願いとして、学びができる場所を用意してほしいと発表しています。

米田市長は、選挙公約に、未来の人材確保、学校教育のレベルアップを掲げています。市長、学び合いができる場所をつくっていただけませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

一点集中という形ではなくて、いろんなやはり価値観を生徒は持っておられるわけでございますので、そういった場をいろいろやはり工夫しながらつくってまいりたいと思っております。

新たなものをつくらなくてはいけないところ、また、今あるものを生かせるもの、いろんなことが考えられるわけでございますので、やはり高校生まで本当にしっかりと、ここで生まれて育ってよかったという環境をつくっていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

この発表会には、米田市長も井川教育長も審査員として参加されておりました。発表提案したこ

とが受け入れられる、高校生の意見を大人が聞いてくれる、これはかけがえのない経験になると思います。ぜひ前向きにお願いします。

次に、学校に行きづらいつ感じている児童生徒に対する対応をお聞きします。

オンラインで授業を受けたり、インターネットで宿題や課題を提出する方法はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

今、中学校のほうで教室のほうに入ることができずに、別室で授業を受けている子供がおります。そういった子供たちのためには、今GIGAスクールのほうで1人1台のタブレット端末が渡っていますけれども、そういったものを使いながら、教室にいなくても教室での授業の様子を見ながら学習することができる、そういったことを取り組んでおります。

また、適応指導教室のほうにも、ネット環境を利用しまして、オンラインまでは行ってないんですけども、ネット環境を使った学習に取り組めるように今しておりますし、また、オンラインでの学習も行く行くできるようになるように、検討を進めているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

ぜひ一人一人に合ったやり方で、学ぶ楽しさを伝えてください。

○議長（松尾徹郎君）

昼食時限ですが、延長いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

先ほどの観光の中の質問で、ジオパルの18時以降の利用者数ということでございますが、令和2年度全体で約23万人であります。そのうち18時以降の利用者は約2,000人で、全体の1%でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

今の中で、1%のために人件費と光熱費を使っているのですか。これは割に合っているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

費用対効果と、あと利便性というところを総合的に判断し、検討したいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

次の質問に移ります。

官製談合事件について。

対応マニュアルがあったということですが、今回の内部調査は対応マニュアルに沿ったものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

今回の件の内部調査という部分については、これから第三者委員会等を含めて、調査ということでございます。

前の不正のおそれがあるということで、入札を中止した件については、糸魚川市談合情報対応事務処理要領というものがございます。その規定に基づきまして、職員なり業者なりから事情をお聞きしたというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

糸魚川市庁内報を調べていたところ、平成31年2月12日に、談合防止に関する打合せ会を行うという案内がありました。「近隣自治体で談合事件が発生しています。いま一度禁止事項や注意事項を確認するため、打合せ会を開催します。技術系係長、建設工事等契約事務担当者は必ず出席してください。」とあります。この会には何人出席で、どのような禁止事項、注意事項が確認されたのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

ちょっと人数のほうは現在把握できておりませんが、基本的には技術系の係長、あと契約担当の事務者ということで、毎年こちらのほうは4月に開催のほうをしております。

前回それにつきましては、談合情報というか、県内でもあったということで、緊急で対応したものに なります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

近隣の市町村で談合事件があったという危機感を、糸魚川市は抱えていたわけです。それにもかかわらず、このような事件が起きたこと、とても残念に思います。一般質問での答弁を聞いていますと、第三者委員会に任せると、少し丸投げのような答弁が多く、市民は納得していないような感じがします。

市長、積極的に調査に協力するなど、ありきたりの言葉ではなく、市長の再発防止、談合事件の原因追及に対する姿勢をいま一度お聞かせ願います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常にこのたびのこの談合問題につきましては、非常に私も大変なことだと受け止めておりまして、やはり庁内でやるのは限界を感じておるわけでございますので、やはり知識がある人たち、そしてまた、それなりの方々からいろいろと調査をするお手伝いをいただく中で判断をしていきたいということで、第三者委員会を設置するものでございます。

決して丸投げということではございません。我々は、全ていろいろ、やはり資料を提出したり、また説明をしたり、そういう中で一体となってこの解決に取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原議員。

○7番（田原洋子君）

新駅でお祝いムードのところに談合事件があり、あのトイレは1,900万するのか、どこにトイレがあるのか、そんな違う見方で観光客や市民の方が言っているという悲しい現状があります。私も糸魚川が大好きです。そんな糸魚川がもっと楽しい話題で取り上げられるようになるよう、これからも糸魚川市、市議会、市民一丸となって進めていきたいと思っております。

以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。再開を1時といたします。

〈午後0時06分 休憩〉

〈午後0時07分 開議〉

〔「議長」と呼ぶ者あり〕